大学コンソーシアム沖縄　第10回（令和２年度第1回）社員総会議事次第

１．日　時：令和２年６月１９日（金）１４：００～１６：３０

２．場　所：琉球大学　大学本部管理棟　第一会議室（４階）〈ＷＥＢ(ZOOM)会議＞

３．開会

４．議　事	資料番号
（１）定款の改正について	資料1
（２）理事の再任について	資料2
（３）代表理事の選定及び副代表理事の指名について	資料なし
（４）大学コンソーシアム沖縄 法人活動（案）について	資料3
（５）令和元年度　事業報告について	資料4
①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業（沖縄県委託事業）	資料4－1
②県民向け公開講座	資料4－2
③ＦＤ・ＳＤ事業	資料4－3
④県内大学入試説明会	資料4－4
（６）令和元年度 決算について	
①決算報告	資料5－1
②監査報告	資料5－2
（７）令和２年度 事業計画（案）について	資料6
（８）令和２年度 予算（案）について	資料7
（９）その他	
①地域連携プラットフォームについて	資料8
②情報交換（新型コロナウイルス感染症の対応について）	資料なし

５．閉会

【配布資料】

（大学コンソーシアム沖縄　令和元年度第2回総会　議事録（承認済））

資料１　　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　定款の改正について
資料２　　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　理事の再任について
資料３　　大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）について
資料４　　令和元年度 事業報告
資料４－１　子どもの居場所学生ボランティアセンター概要資料
資料４－２　大学コンソーシアム沖縄　県民向け公開講座実施状況一覧
資料４－３　ＦＤ・ＳＤ事業実施状況一覧
資料４－４　県内大学入試説明会
資料５－１　決算報告書
資料５－２　監査報告書
資料６　　令和２年度 事業計画（案）について
資料７　　令和２年度 予算（案）
資料８　　地域連携プラットフォームについて

参考資料１　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄定款
参考資料２　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄役員等名簿

第９回 社員総会 議事録

１．総会の種類　臨時社員総会

２．日　　時　令和２年２月２７日（木）　午後１時５６分～午後５時１１分

３．場　　所　琉球大学　大学本部棟　第一会議室

４．総社員数　１０名

５．出席社員　琉球大学（代表理事：西田 睦）　名桜大学（副代表理事：山里 勝己）
沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学（理事：友利 廣）
沖縄大学（理事：盛口 満）　沖縄女子短期大学（理事：平田 美紀）
沖縄国際大学（理事：前津 榮健）　沖縄県立芸術大学（理事：比嘉 康春）
沖縄県立看護大学（理事：嘉手苅 英子）
沖縄工業高等専門学校（理事：安藤 安則）
沖縄科学技術大学院大学（代理出席：ロバート・バックマン）

６．欠席社員　沖縄科学技術大学院大学（理事：ピーター・グルース）

７．列 席 者　顧　　問：瀬名波 榮喜
事務局長：新田 早苗
運営委員：金城 徹、砂川 一弥、中田 竜次、田代 真紀、島袋 常義、比嘉　美昭、（代理）小波津 俊、（代理）今村 文昭、長濱 為一
関係職員等：ミサキ・タカバヤシ、牛窪 潔、本村 真、玉城 福子、獺口 浩一、岡﨑 威、崎山 英樹、島袋 健、

８．議　　事

第１号議案　理事の改選について
第２号議案　沖縄学術振興会議資金残余の大学コンソーシアム沖縄への寄附申入れについて
第３号議案　大学コンソーシアム沖縄の規程整備について
第４号議案　今年度の活動報告について
①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業
②県民向け公開講座及びＦＤ・ＳＤ研修事業について
③県内大学入試説明会について
第５号議案　大学コンソーシアム沖縄　法人活動について
第６号議案　大学コンソーシアム沖縄リーフレットイメージ（案）について
第７号議案　博士後期課程の学生を対象としたプレＦＤについて
第８号議案　今後のアカデミック活動の可能性に向けて
第９号議案　おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会について

9．開会並びに定足数及び議事録署名人の確認

議長である西田代表理事から、本社員総会は定足数を満たし、有効に成立している旨報告があった後、開会宣言及び開会挨拶があり、議事審議に入った。

10. 定款第１５条の規定による議長の氏名

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄代表理事　西田　睦

11. 議事経過の要領及びその結果

○第１号議案　理事の改選について

議長から議案の提案があり、議長の指名により新田事務局長から資料に基づき、当法人理事の山里勝己名桜大学長、友利廣沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期学長、比嘉康春沖縄県立芸術大学長、安藤安則沖縄工業高等専門学校長が、本年３月３１日をもって学長又は校長の職を退任することに伴い、同日付けで当法人理事も退任することについての説明があった。

併せて、当法人の運営に支障が生じることがないよう、本年４月１日付けで当該大学等の学長又は校長に就任する予定の者を、同日付けをもって当法人の理事に就任させたく、本総会にて改選（残存期間の就任）を行うことについて説明があった。

定款第１７条第３項の規定に基づき、審議した結果、本年４月１日付けで学長又は校長に就任する予定の４氏について、理事の改選が承認された。

○第２号議案　沖縄学術振興会議資金残余の大学コンソーシアム沖縄への寄附申入れについて

議長から議案の提案があり、議長の指名により新田事務局長から資料に基づき、沖縄学術振興会議資金残余金 213,989 円の大学コンソーシアム沖縄への寄附申入れについて説明があった。また、当時、沖縄学術振興会議の理事で今回の寄附申入れを行った本法人の瀬名波顧問から、寄附申入れの経緯及び沖縄学術振興会議の補足説明があった。

審議の結果、本件について、全員異議なく承認された。

なお、大学コンソーシアム沖縄の趣旨は沖縄学術振興会議の趣旨を包含している旨の見解が示された。

○第３号議案　大学コンソーシアム沖縄の規程整備について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（島袋）から資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄の規程整備（案）について説明があった。

審議の結果、本件について、本年４月１日から施行することで、全員異議なく承認された。

また、議長から、「大学コンソーシアム沖縄監査に関する申合せ」の２に基づき、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学及び沖縄大学の理事を監査人とすることで、全員異議なく承認された。

○第４号議案　今年度（2019 年度）の活動報告について

議長から議案の提案があり、議長の指名により以下の者から資料に基づき、今年度（2019 年度）の活動について報告があった。

①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業

報告者：本村真 子どもの居場所学生ボランティアセンター長

・玉城コーディネーターから追加説明として、学生ボランティアや居場所のアンケートによる感想等について紹介があった。

②県民向け公開講座及びＦＤ・ＳＤ研修事業について

報告者：新田早苗（事務局長）

・沖縄キリスト教学院大学の県民向け公開講座「アフガニスタン命の水を～干ばつの大地に用水路を拓く～」の講師であるペシャワール代表の中村哲氏が亡くなられたことについて哀悼の意が表明された。

・出席者から、県民向け公開講座とＦＤ・ＳＤ研修事業が一覧表になっているのは良いが、目的が異なるものが混在しているのではとの意見があり、今後は分けて提示するとの回答があった。

③県内大学入試説明会について

報告者：新田早苗事務局長

・３月８日に沖縄県高等学校ＰＴＡ連合会との共催で開催予定の県内大学入試説明会については、２７７名の申込みがあったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期することとしている旨、報告があった。

審議の結果、本件について、全員異議なく承認された。

○第５号議案　大学コンソーシアム沖縄　法人活動について

議長から議案の提案があり、議長の指名により新田事務局長から資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄の次年度（2020 年度）に向けた法人活動について説明があった。

友利理事から、別法人において複数の大学が連携して提供している「知の風（金融人材育成講座）」を本法人の活動として組み込むことの検討に関する意見、また、教員を中心としたアカデミック活動の展開に関する意見等があった。

議長から、当法人の次年度（2020 年度）に向けた活動については、引き続き、運営委員会を中心に実施検討を進め、適宜、見直していくこと、県内の高等教育機関の学長・校長が集まる場として情報交流をよりさかんにしていくことも必要との説明があった。

審議の結果、本件について、全員異議なく承認された。

○第６号議案　大学コンソーシアム沖縄リーフレットイメージ（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により新田事務局長から資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄リーフレットイメージ（案）について、運営委員会において掲載内容を精査した上で、次年度の早い時期に発行する方向で進めたい旨の説明があった。

審議の結果、本件について、全員異議なく承認された。

○第７号議案　博士後期課程の学生を対象としたプレＦＤについて

議長から議案の提案があり、議長の指名により嘉手苅理事から資料に基づき、本議案の提案理由の説明があった。引き続き、各大学における状況の報告及び意見交換があった。

審議の結果、博士後期課程の学生を対象としたプレＦＤに関する意見交換を踏まえ、議長から本件を重要課題として位置づけて、引き続き、検討していきたいとの発言があり、全員異議なく承認された。

○第８号議案　今後のアカデミック活動の可能性に向けて

議長から議案の提案があり、議長の指名により理事の代理出席であるロバート・バックマン氏及び沖縄科学大学院大学のミサキ・タカバヤシ氏から資料に基づき、本議案の提案理由の説明があった。これを踏まえ、各大学における状況の報告ののち、アカデミック活動に向けたワーキンググループを設置すること等を含め意見交換があった。

審議の結果、今後のアカデミック活動の可能性に向けては、大学コンソーシアム沖縄は歩み出したばかりであることから、引き続き、本件について検討していくことで、全員異議なく承認された。

○第９号議案　おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会について

議長から議案の提案があり、議長の指名により陪席の琉球大学工学部の岡﨑教授から資料に基づき、おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会について説明があった。

会員会費の徴収の有無や学問分野におけるデータサイエンスやＡＩ・ビッグデータの活用に関する状況について意見交換があった。

審議の結果、おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会を通した連携協力について、全員異議なく承認された。

○その他

議長から、その他の審議あるいは報告等がないか確認があり、新田事務局長から、沖縄ＭＩＣＥネットワーク事務局から提供された資料に基づき、沖縄ＭＩＣＥネットワーク事業スケジュールやツーリズムＥＸＰＯジャパン沖縄リゾート展について紹介があった。

続いて、本年３月末日をもって学長・校長及び本法人理事を退任する山里勝己名桜大学長、友利廣沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学長、比嘉康春沖縄県立芸術大学長、安藤安則沖縄工業高等専門学校長、並びに事務局長を退任する新田早苗琉球大学総合企画戦略部長から、退任の挨拶があった。

上記議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事が記名押印する。

令和２年 ３ 月 31 日

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　第９回社員総会

議　長　　西　田　　睦　　印

理　事　　山　里　勝　己　　印

理　事　　友　利　　廣　　印

理　事　　盛　口　　満　　印

理　事　　平　田　美　紀　　印

理　事　　前　津　榮　健　　印

理　事　　比　嘉　康　春　　印

理　事　　嘉手苅　英　子　　印

理　事　　安　藤　安　則　　印

（議事録作成者）
運営委員（琉球大学地域連携推進課長）　金　城　　徹

資料１

大学コンソーシアム沖縄定款の一部改正に伴う新旧対照表

新	旧
（改正理由） ・代表理事の選定は、現行の定款第２３条において「理事の互選」と規定されており、理事の互選書を作成していたが、業務効率化等を進める観点から「社員総会の決議」と改める。 ・本法人は、法人税法上の非営利型法人として位置づけられている。同法施行令第３条第１項においては、その範囲が次の各号の要件の全てに該当する法人と定められており、同条第１項第１号では「その定款に剰余金の分配を行わない旨の定めがあること」、第２号では「その定款に解散したときはその残余財産が国若しくは地方公共団体又は次に掲げる法人に帰属する旨の定めがあること。イ　公益社団法人及び公益財団法人　ロ　公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第５条第１７号イからトまで（公益認定の基準）に掲げる法人」と定められている。非営利型法人の要件を備えるためには、これらのことを定款に定める必要があるため、今回規定の整備を行う。	
大学コンソーシアム沖縄定款	**大学コンソーシアム沖縄定款**
第１条～第２２条　　略	第１条～第２２条　　略
（代表理事等） 第２３条　理事のうち、１名を代表理事、１名を副代表理事とする。 ２　代表理事は、社員総会の決議によって選定する。 ３　　略	（代表理事等） 第２３条　理事のうち、１名を代表理事、１名を副代表理事とする。 ２　代表理事は、理事の互選によって選定する。 ３　　略

新	旧
第２４条～第３０条　　略	第２４条～第３０条　　略
（剰余金の不分配） 第３１条　この法人は、剰余金の分配を行わない。	（新規）
第７章 事務局	第７章 事務局
（事務局） 第３２条　　略	（事務局） 第３１条　　略
第８章　定款の変更、合併及び解散等	第８章　定款の変更、合併及び解散
（定款の変更） 第３３条　　略	（定款の変更） 第３２条　　略
（合併等） 第３４条　　略	（合併等） 第３３条　　略
（解散） 第３５条　　略	（解散） 第３４条　　略
（残余財産の帰属） 第３６条　この法人が、清算する場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第５条第１７号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。	（新規）

新	旧
第９章 公告の方法	第９章 公告の方法
（公告の方法）	（公告の方法）
第３７条　略	第３５条　略
第１０章　附則	第１０章　附則
（最初の事業年度）	（最初の事業年度）
第３８条　略	第３６条　略
（設立時の役員等）	（設立時の役員等）
第３９条　略	第３７条　略
（設立時社員の名称及び住所）	（設立時社員の名称及び住所）
第４０条　略	第３８条　略
（設立時の顧問・事務局長）	（設立時の顧問・事務局長）
第４１条　略	第３９条　略
（法令の準拠）	（法令の準拠）
第４２条　略	第４０条　略
附　則（平成２６年８月８日）	
この定款は，平成２６年８月８日から施行する。	
附　則（令和２年　月　日）	
この定款は，令和２年　月　　日から施行する。	

資料２

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　理事の再任について（案）

１．理事の再任の手続について

・一般社団法人大学コンソーシアム沖縄定款（以下「定款」という）第２４条では、「理事の任期は、選任後、２年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで」とされていることから、再任の手続が必要となる。

・定款第１７条第３項に基づき、候補者ごとに再任の議決を行わなければならない。（総正会員の過半数を有する正会員の出席と正会員の議決権の過半数）

２．各理事の就任・再任の年月日は以下のとおり。　（令和２年４月１日現在）

No	氏名	大学・役職	大学ｺﾝｿｰｼｱﾑ沖縄・役職	再任後の任期	備　考
1	西田　睦(ﾆｼﾀﾞ　ﾑﾂﾐ)	琉球大学長	代表理事	令和２年定時社員総会終結の時 ～令和４年定時社員総会終結の時	
2	金　永秀（ｷﾑ ﾖﾝｽ）	沖縄キリスト教学院大学長 沖縄キリスト教短期大学長	理事	〃	
3	盛口　満（ﾓﾘｸﾞﾁ ﾐﾂﾙ）	沖縄大学長	理事	〃	
4	平田　美紀（ﾋﾗﾀ ﾐｷ）	沖縄女子短期大学長	理事	〃	
5	前津　榮健（ﾏｴﾂ　ｴｲｹﾝ）	沖縄国際大学長	理事	〃	
6	波多野　泉（ﾊﾀﾉ ｲｽﾞﾐ）	沖縄県立芸術大学長	理事	〃	
7	砂川　昌範（ｽﾅｶﾞﾜ ﾏｻﾉﾘ）	名桜大学長	理事	〃	
8	嘉手苅　英子（ｶﾃﾞｶﾙ ｴｲｺ）	沖縄県立看護大学長	理事	〃	
9	伊原　博隆（ｲﾊﾗ ﾋﾛﾀｶ）	沖縄工業高等専門学校長	理事	〃	
10	グルース・ハインリッヒ・ピーター・ホースト	沖縄科学技術大学院大学長	理事	〃	

３．一般社団法人大学コンソーシアム沖縄定款（抜粋）

（決議）

第１７条　社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。

（略）

３　理事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第１項の決議を行わなければならない。

（理事の任期）

第２４条　理事の任期は、選任後２年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

２　任期満了前に退任した理事の補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

資料３

大学コンソーシアム沖縄　法人活動について（案）

令和２年度以降の大学コンソーシアム沖縄の法人活動は以下のとおり

Ⅰ　令和２年度以降の実施事業

１　連携による人材育成事業
- ①　トビタテ！留学ＪＡＰＡＮ　地域人材コース
- ②　世界ウチナーンチュ学生サミット～教育連携～
- ③　キャリア教育（インターンシップ）～教育連携～
- ④　単位互換～教育連携～

２　地域課題対応事業
- ①　子どもの居場所学生ボランティアセンター

３　ＦＤ・ＳＤ事業
- ①　教育の質保証に関する合同ＦＤ～教育・研究連携～
- ②　大学職員合同研修ＳＤ～教育・研究連携～

４　生涯学習事業
- 県民向け公開講座

５　その他事業等
- ①　合同学生募集活動
- ②　情報交換

Ⅱ　法人の運営体制
- １　規程の整備
- ２　事務局体制の整備（人事交流を含む）及び公益法人化について

Ⅲ　検討事項
- １　「地域連携プラットフォーム（仮称）」の検討
- ２　国公私立の枠組みを越えた連携の仕組みの検討

資料　４

令和元年度 事業報告

資料４－１　子ども居場所学生ボランティアコーディネート事業

資料４－２　県民向け公開講座

資料４－３　ＦＤ・ＳＤ事業

資料４－４　県内大学入試説明会

資料　４

令和元年度 事業報告

資料４－１　子ども居場所学生ボランティアコーディネート事業

資料４－２　県民向け公開講座

資料４－３　ＦＤ・ＳＤ事業

資料４－４　県内大学入試説明会

資料4-1

子どもの居場所学生ボランティアセンターとは

内 閣 府

沖縄子供の貧困緊急対策事業

沖 縄 県

子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄

子どもの居場所学生ボランティアセンター

子どもの居場所学生ボランティアセンター概要

設　立

設　立：２０１６年４月１４日

体　制

センター長	本村　真　（琉球大学　人文社会学部　人間社会学科　教授）
副センター長	上原　健二　（沖縄女子短期大学　児童教育学科　准教授）
	渡久山　朝裕　（沖縄県立看護大学　看護学部　看護学科　准教授）
	比嘉　憲枝　（名桜大学　人間健康学部　看護学科　上級准教授）
	比嘉　昌哉　（沖縄国際大学　総合文化学部　人間福祉学科　教授）
	山野　良一　（沖縄大学　人文学部　福祉文化学科　教授）
コーディネーター	喜久里　瑛、　砂川　育子
事務補佐員	大城　愛梨　、　渡慶次　美奈子　（50音順で記載）

子どもの居場所学生ボランティアセンターのしくみ

子どもの居場所学生ボランティアセンター



名桜大学
琉球大学
沖縄科学技術大学院大学
沖縄国際大学
沖縄女子短期大学
沖縄工業高等専門学校
沖縄大学
沖縄県立芸術大学
沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学
沖縄県立看護大学

学生サポートボランティア派遣

学生支援・メンター制度

子どもの居場所

学習支援教室

子ども食堂

子ども向け
アクティビティ

沖縄県内専門職団体から
メンターの派遣

参加団体

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄ソーシャルワーカー協会、沖縄県医師会、沖縄県看護協会、沖縄県公認心理師協会、沖縄県教職員組合、 沖縄県社会福祉士会、沖縄県精神保健福祉士会、等

学生派遣によって期待される効果



お兄さん
お姉さん
的存在



居場所に
おける安
心感の向
上

学校生活
への参加
意欲の高
まり



自己肯定
感の向上

居場所に
おける他
の活動

学生が子どもの居場所へ派遣されるまでの流れ

学生からの応募

↓

事前研修会の受講

↓

学生サポートボランティアとしての登録

↓

学生の希望と子どもの居場所とのマッチング

↓

子どもの居場所へ学生を派遣

5

学生への処遇

受託事業費より

- ボランティア保険の加入費
- 自宅から子どもの居場所までの交通費

寄 付 金 よ り

- ボランティア活動において、１時間あたり７６０円の謝金を支給

6

学生へのサポート・・・メンター制度

沖縄県内専門職団体
からメンターの派遣

悩み

仲間との
悩みの共有

アドバイス

異なる大学、学年で
少人数のグループを形成
＝
ピア・グループ

参加団体

- 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
- 沖縄ソーシャルワーカー協会
- 沖縄県医師会
- 沖縄県看護協会
- 沖縄県公認心理師協会
- 沖縄県教職員組合
- 沖縄県社会福祉士会
- 沖縄県精神保健福祉士会　等



学生サポートボランティア派遣状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（3月末時点）
市町村より推薦を受けた居場所数	55	82	114	143
派遣希望居場所数	※1 －	※1 －	92	113
派遣済居場所数	22	45	72	80
派遣済市町村数	13	20	23	24
事前研修会受講者数	105	228	240	243
サポートボランティア登録学生数	76	172	205	237
学生派遣人数（今年度累計）	50	122	180	189
学生派遣回数	※1 －	※1 －	※1 －	4,120
学生が関わった子どもの数	2,885	15,449	29,409	36,519

※1　データ集計なし

2018年度大学別派遣状況

大学名	派遣人数	定期	不定期	離島	事前研修受講者数	登録者数
琉球大学	77	60	10	24	88	84
沖縄キリスト教学院大学	0	0	0	0	7	3
沖縄キリスト教短期大学	2	2	0	1	14	4
沖縄大学	7	7	2	0	10	9
沖縄女子短期大学	16	15	1	2	24	16
沖縄国際大学	27	26	1	5	34	28
沖縄県立芸術大学	2	1	2	0	0	2
名桜大学	27	22	2	6	40	32
沖縄県立看護大学	17	15	2	4	18	22
沖縄工業高等専門学校	4	3	1	2	4	4
ＯＩＳＴ	1	1	0	0	1	1
【合計】	175	152	21	44	240	205

2019年度大学別派遣状況

大学名	派遣人数	定期	不定期	離島	事前研修受講者数	登録者数
琉球大学	82	71	17	17	103	94
沖縄キリスト教学院大学	0	0	0	0	0	0
沖縄キリスト教短期大学	4	4	0	1	12	10
沖縄大学	5	4	1	2	14	8
沖縄女子短期大学	16	14	5	1	17	19
沖縄国際大学	26	26	1	4	32	27
沖縄県立芸術大学	2	2	0	0	6	2
名桜大学	43	39	8	6	54	58
沖縄県立看護大学	8	8	2	1	4	15
沖縄工業高等専門学校	2	2	0	1	1	3
ＯＩＳＴ	1	1	0	0	0	1
【合計】	189	171	34	33	243	237

島嶼地域の子どもの居場所への派遣

大学のない離島の子どもの居場所では、普段大学生と触れ合う機会が少ないために、学生サポートボランティアの派遣を望む声も大きい。これに応えるべく、子どもの居場所学生ボランティアセンターでは、学生の長期休暇を利用し、短期集中派遣を行っている。

離島名	2016年度 派遣人数 （ 居場所数 ）	2017年度 派遣人数 （ 居場所数 ）	2018年度・夏 派遣人数 （ 居場所数 ）	2018年度・春 派遣人数 （ 居場所数 ）	2019年度・夏 派遣人数 （ 居場所数 ）	2019年度・春 派遣人数 （ 居場所数 ）
石垣島	2人 （1ヶ所）	10人 （ 1ヶ所 ）	14人 （ 4ヶ所 ）	3人 （ 4ヶ所 ）	10人 （ 4ヶ所 ）	1人 （ 1ヶ所 ）
宮古島	4人 （3ヶ所）	20人 （ 5ヶ所 ）	20人 （ 5ヶ所 ）	7人 （ 5ヶ所 ）	12人 （ 6ヶ所 ）	4人 （ 3ヶ所 ）
多良間島	0人 （0ヶ所）	4人 （ 1ヶ所 ）	3人 （ 1ヶ所 ）	1人 （ 1ヶ所 ）	2人 （ 1ヶ所 ）	1人 （ 1ヶ所 ）
伊平屋村	—	—	—	2人 （ 1ヶ所 ）	3人 （ 1ヶ所 ）	2人 （ 1ヶ所 ）
南大東村	—	—	—	2人 （ 2ヶ所 ）	2人 （ 2ヶ所 ）	2人 （ 2ヶ所 ）
【 合計 】	6人 （4ヶ所）	33人※1 （7か所）	34人※2 （10か所）	14人※3 （13か所）	28人※4 （14か所）	8人※5 （8か所）

※1 宮古島と多良間島の２か所で活動した学生１名が重複。※4 宮古島と多良間島の２か所で活動した学生1名が重複。
※2 宮古島と多良間島の２か所で活動した学生３名が重複。※5 宮古島と多良間島の２か所で活動した学生1名が重複。
※3 宮古島と多良間島の２か所で活動した学生１名が重複。

学生サポートボランティア事前研修会の開催

講義内容

● コーディネーター	ボランティアセンターの概要説明（心得等）
● コーディネーター	子供の貧困緊急対策事業概要（沖縄県資料）
● 社会福祉士・児童福祉司	ソーシャルワークの基礎
● 居場所スタッフ	子どもの居場所関係者による現場からの声
● 学生ボランティア	学生ボランティアによる現場からの声
● 弁護士	子どもたちの人権について

	日 時	場 所	参加人数
第１回	2019年4月21日（日）	琉球大学	122
第２回	2019年5月26日（日）	名桜大学	53
第３回	2019年11月10日（日）	沖縄大学	68
		合計	243





ピアグループ＆メンター制度の実施

学生サポートボランティアをする「仲間（ピア）」同士が集まる機会を設け、同時に対人援助の専門家に「助言者（メンター）」として話を聴いて頂くことで、ボランティア活動で生じた悩みの解消を図ることを目的とする。





●メンター実施状況（2019年度）

	開催数	参加人数	大学別参加人数
第１期（８月）	1	19	琉球大学8名、沖縄国際大学8名、沖縄県立看護大学3名
第２期（10月、11月）	2	10	琉球大学1名、名桜大学7名、沖縄女子短期大学1名、沖縄国際大学1名
第３期（３月）	2	5	名桜大学2名、琉球大学2名、沖縄国際大学1名

学生提案型企画

子どもの貧困問題に関する理解を深め、卒業後にも引き続き課題解決に貢献できる人材として社会で活躍するための経験を提供することを目的とし、学生サポートボランティアが自ら子どもの貧困問題の解決や啓発に主体的に取り組むプロジェクトを公募し、採用プロジェクトに対し支援を行った。

募集期間：2019年5月31日～7月8日

応募総数：1件

採用プロジェクト

テ　ー　マ：『三線弾ちゅに？』
歌三線を通してものを大切にする気持ちを育む

プロジェクト期間：　2019年10月～2020年1月

場　　所：　子どもの居場所わらびぃくらぶ（中城村）

企　画　者：　久保駿太郎、上原拓珠、篠田知希（琉球大学）

成果発表会：　2020年3月6日

子どもの居場所学生ボランティアセンター主催　研修会＆シンポジウム

沖縄県内の子どもを取り巻く実情や、国内の先進的取組みに関する研修会として実施。学生のスキルアップ及び一般市民への子ども支援への理解を深めることを目的とし、『発達障害児の支援を学ぶ～みんなが居心地の良い子どもの居場所を目指して～』と題して、研修会を開催した。

日　　時 ： ２０１９年１２月１５日（日）１０：００～１２：００
場　　所 ： 沖縄国際大学　１３号館　３０２教室
対　　象 ： 学生サポートボランティアに登録する学生 / 一般市民
参加人数 ： ４０名
テ　ー　マ：「発達障害児の支援を学ぶ～みんなが居心地の良い子どもの居場所を目指して～ 」
講　　師 ： 知名 孝 氏 （沖縄国際大学　准教授 ）





15

子どもの居場所学生ボランティアセンター活動報告会

寄付を頂いた企業・個人・団体へ、今年度の本センターの活動状況を報告するとともに、サポートボランティアとして活躍する学生や子どもの居場所関係者の現場の声を紹介し、学生サポートボランティアによる成果を報告するための動画を撮影した。

日 時 ： ２０２０年3月２６日（木）１６：３０～１８：００
場 所 ： 琉球大学　文系総合研究棟　2階　A会議室

■学生による活動報告
沖縄県立看護大学　新垣　星羅
沖縄国際大学　池間　蘭人

■居場所による報告
中城村　子どもの居場所わらびいくらぶ　支援員　井村　真帆
大宜味村　ぶながやっ子ハウス　代表　上原　幸彦








16

子どもの居場所と学生へのアンケートの実施

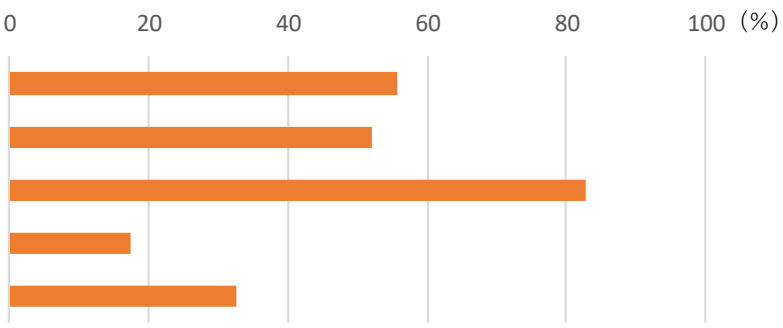
今後の事業内容の改善を目的とし、子どもの居場所ならびに登録学生へのアンケートを行った。

調査期間：2020年1月20日～2月9日
調査対象：〇沖縄県内の子どもの居場所（当センターから派遣していない居場所も含む）
〇一度でも派遣されたことのある学生
調査方法：メールにてURL（Googleフォーム）を送付、または郵送にて配布・回収
回収状況：子どもの居場所 （ 109 / 187、回収率58% ）
学生サポートボランティア （ 117 / 185、回収率63% ）

【アンケート結果（居場所編より抜粋）】

問４　貴居場所で、学生サポートボランティアが担う役割を教えてください。（いくつでも）

●役割	回答数	比率
1　食事支援	29	56%
2　生活指導	27	52%
3　学習支援	43	83%
4　キャリア形成	9	17%
5　その他	17	33%

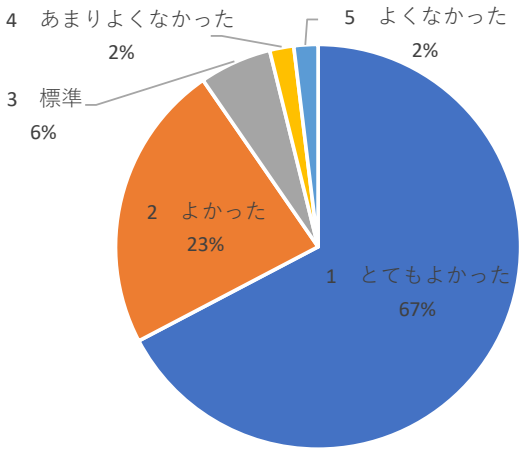


（回答者数 52）

その他：遊び相手等

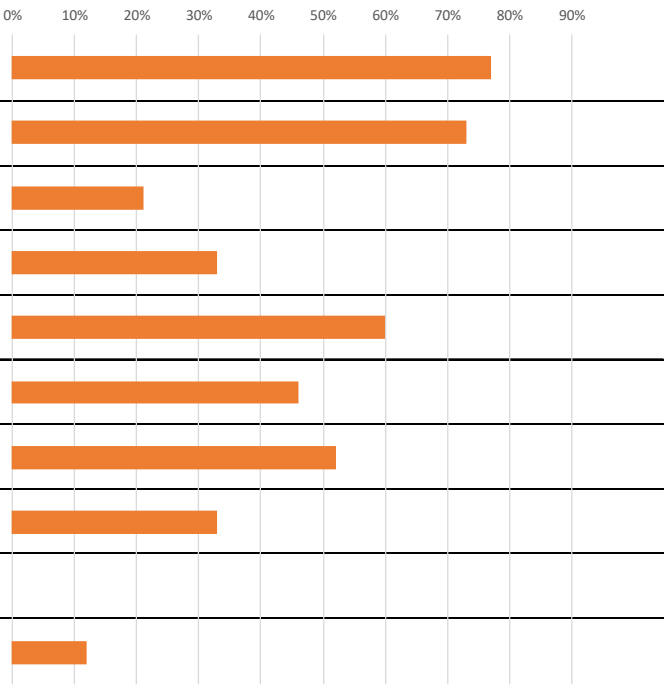
問７　学生サポートボランティアを受入れた感想を教えてください。（ひとつだけ）

●受け入れた感想	回答数	比率
1　とてもよかった	35	67%
2　よかった	12	23%
3　標準	3	6%
4　あまりよくなかった	1	2%
5　よくなかった	1	2%
合計	52	



問８　学生サポートボランティアを受入れてよかった点を教えてください。（いくつでも）

●受け入れて良かった点	回答数	比率
1　子どもが、学生サポートボランティアをお兄さん、お姉さんのように慕っていた	40	77%
2　子どもが、学生サポートボランティアに会う日を楽しみにしていた	38	73%
3　子どもが、将来の夢や希望を持つようになった	11	21%
4　子どもの学習意欲がわいた	17	33%
5　居場所スタッフとは異なる役割を果たしてくれた	31	60%
6　居場所スタッフでは対応が難しいこと（勉強、体を使う遊びや運動）に対応してくれた	24	46%
7　いろんな人と出会う機会となり、子ども達の対人関係能力が向上した	27	52%
8　学生サポートボランティアとの関わりで、子ども達が進学・就職をイメージできるようになった	17	33%
9　特にない	0	0%
10　その他	6	12%



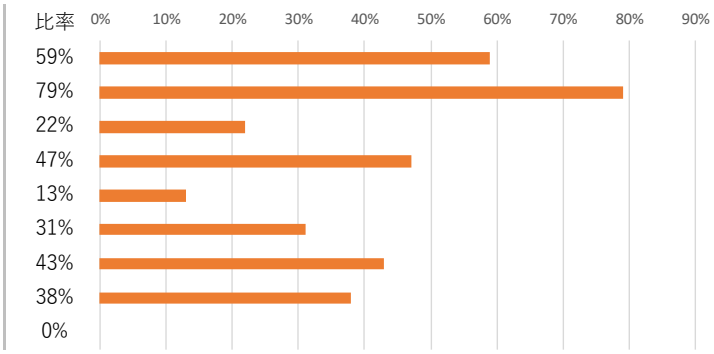
（回答者数 52）

その他
- 子ども達の安心感が増えた。
- 派遣された学生が外国人であったため、よい刺激をいただいた。
- いつもと違う明るい表情がみられるようになった。

【アンケート結果（学生編より抜粋）】

問11　ボランティア活動を通じて、学んだことや得られたことを教えてください。（いくつでも）

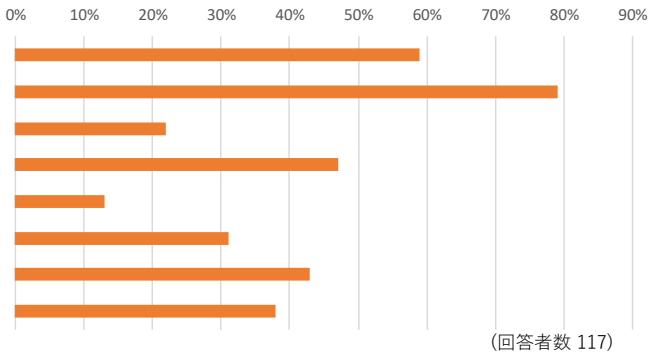
●学んだこと、得られたこと	回答数	比率
1　子どもの貧困問題について深く知ることができた	71	59%
2　子どもとの関わりが上手になった	95	79%
3　勉強の教え方が上手になった	26	22%
4　地域について知ることができた	56	47%
5　社会の仕組みや経済の流れなどを知ることができた	15	13%
6　大学で学んでいることを実践することができた	37	31%
7　進路について深く考えるようになった	52	43%
8　将来、働くときに役に立つ情報を得ることができた	45	38%
9　特にない	0	0%



（回答者数 117）

問12　子どもとの関わりの中で、どのような変化が見られた子どもがいましたか。（いくつでも）

●関わりの中で見られた子どもの変化	回答数	比率
1　学習意欲が高まった	71	59%
2　大学等の高等教育に興味を持つようになった	95	79%
3　言葉で気持ちが伝えられるようになった	26	22%
4　自己否定的な表現が減った	56	47%
5　挨拶を積極的にできるようになった	15	13%
6　食事のマナーが身についた	37	31%
7　特にない	52	43%
8　その他	45	38%



（回答者数 117）

その他
・単独行動だったが、他の子と遊ぶようになった。
・周りの子と一緒に遊ぶことができた。
・性格が穏やかになった。
・社会性が身についた。　等

令和2年度の活動状況

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日から対面によるボランティア活動を停止した。（オンラインでの支援は継続中）
- 各大学・学校の入学式やオリエンテーション等でPR活動を行う予定であったが、入学式の中止やオリエンテーションの時間短縮等により、PR活動が中止となった。
- 4月、５月に事前研修会を予定していたが、学生、講師の安全面を考慮し、対面での研修会を中止とした。６月21日にオンラインを利用した事前研修会を予定している。

寄附金一覧（2016年度～2019年度）

（単位：円）

	寄附団体名	寄附金収入		備考
2016年度	一般財団法人オリオンビール奨学金財団（現在、公益財団法人オリオンビール奨学財団）	5,000,000		
	沖縄県酒造組合	4,500,000	21,510,000	
	株式会社國場組	10,000,000		
	株式会社日本トランスオーシャン航空	2,000,000		航空チケット（上限100万×3年＝300万円相当）
	寺田克彦（テラ・ウェブ・クリエイト）	10,000		
2017年度	株式会社MUGEN	120,000		
	株式会社MUGEN	100,000		
	公益財団法人オリオンビール奨学財団	5,000,000	6,320,000	
	沖縄県酒造組合	1,000,000		
	Ｊ・ＴＡＰ協力会	100,000		離島派遣時の宿泊費として
2018年度	沖縄法政学会	254,786		
	公益財団法人オリオンビール奨学財団	5,000,000	6,254,786	
	沖縄県酒造組合	1,000,000		
2019年度	個人（匿名）	100,000		
	株式会社MUGEN	40,000		
	公益財団法人オリオンビール奨学財団	5,000,000	6,440,000	
	琉球宇温基金	300,000		離島派遣学生に対する謝金に限る
	沖縄県酒造組合	1,000,000		

寄附金支出（学生への謝金支払い額・航空チケット）

（単位：円）

年度	寄付収入	謝金	寄付残高	航空チケット使用額	航空チケット残額	離島派遣宿泊費使用額	離島派遣宿泊費残額
2016年度	21,510,000	1,079,225	20,430,775		3,000,000		
2017年度	6,320,000	4,952,500	21,798,275	913,500	2,086,500		100,000
2018年度	6,254,786	8,260,990	19,792,071	917,000	1,169,500	100,000	0
2019年度	6,440,000	10,834,560	15,397,511	914,100	0※1		

※1　寄付チケット代の残額＝255,400円は、2020年度に繰り越しができない。

子どもの居場所（協定締結済み）一覧
【2020年度】

No	市町村名	運営主体	居場所名	運営主体		締結年月日
				市町村	その他	
1	那覇市	あけぼのほのぼの会	ほのぼのカフェ		○	2020年4月22日
2	浦添市	一般社団法人まちづくりうらそえ （『まちづくりNPOうらそえ』から名称変更）	森の子児童センター		○	2020年4月22日

子どもの居場所（協定締結済み）一覧
【2016年度～2019年度】

No	市町村名	運営主体	居場所名	運営主体		締結年月日
				市町村	その他	
1	那覇市	グロリアキッズクラブ	グロリアキッズクラブ		○	2020年1月23日
2	浦添市	はっぴーていだクラブ	はっぴーていだクラブ		○	2019年12月16日
3	うるま市	なかすき児童センター	ももたまな		○	2019年11月21日
4	名護市	aube屋部の浦食堂実行委員会	aube屋部の浦食堂		○	2019年10月25日
5	那覇市	首里城下町クリニック内 町の自習室	町の自習室		○	2019年9月11日
6	宜野湾市	宜野湾市福祉推進部　児童家庭課	Teen support room 沖種	○		2019年9月11日
7	那覇市	NPO法人にじのはしファンド にじの森文庫	にじの森文庫		○	2019年8月5日
8	那覇市	シオンハウス育成会	松川子ども広場		○	2019年8月2日
9	那覇市	子ども支援小禄にじの会	子ども支援小禄にじの会		○	2019年7月19日
10	浦添市	浦添市立内間児童センター	内間児童センター		○	2019年6月18日
11	南城市	一般社団法人とみ会	BIG MAMA HOUSE		○	2019年6月7日
12	糸満市	糸満市立西崎太陽児童センター	糸満市立西崎太陽児童センター		○	2019年5月20日
13	浦添市	株式会社トライグループ	浦添市てだこ未来学習支援型居場所		○	2019年4月17日
14	うるま市	株式会社レキオス	あじま一家		○	2019年2月28日
15	浦添市	仲西夢サポートセンター	仲西夢サポートセンター		○	2019年2月25日
16	南大東村	南大東村	夢クラブ	○		2019年2月7日
17	南大東村	南大東村	南大東村夢クラブ	○		2019年2月7日
18	沖縄市	学習支援ひろば　くじら寺小屋	学習支援ひろば　くじら寺子屋		○	2018年10月15日
19	那覇市	宇栄原団地自治会	すこやか宇栄原っ子		○	2018年9月12日
20	沖縄市	一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ	美ら団子		○	2018年9月1日
21	那覇市	一般社団法人琉球フィルハーモニック	ジュニアジャズオーケストラおきなわ那覇ウェスト		○	2018年8月20日
22	国頭村	国頭村役場　福祉課	スマイル☆キッズルーム	○		2018年8月17日
23	宜野座村	一般社団法人Estage（エステージ）	えーる		○	2018年8月1日
24	宮古島市	NPO法人いけま福祉支援センター	みんなのおうち		○	2018年7月30日
25	石垣市	アルファ進学スクール	子どもホッ！とステーション未来塾		○	2018年7月30日
26	石垣市	石垣市子どもセンター	石垣市子どもセンター		○	2018年7月30日
27	石垣市	まきら子どもホッと！ステーション	まきら子どもホッ！とステーション		○	2018年7月30日

No	市町村名	運営主体	居場所名	運営主体		締結年月日
				市町村	その他	
28	那覇市	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会	ティーダ・わらび～教室		○	2018年7月27日
29	那覇市	那覇市社会福祉協議会	小禄北地域福祉推進会		○	2018年7月25日
30	西原町	西原町役場	わくわく教室	○		2018年7月23日
31	名護市	名護市営市場子ども食堂	名護市営市場子ども食堂		○	2018年7月7日
32	那覇市	ほのぼのプロジェクト	ほのぼのヒロバ		○	2018年6月20日
33	中城村	社会福祉法人中城社会福祉協議会	子どもの居場所　わらびぃくらぶ		○	2018年6月18日
34	沖縄市	一般社団法人子どもフードバンクKFB	子どもカフェ		○	2018年6月18日
35	北中城村	北中城村　福祉課	仲順児童館	○		2018年4月30日
36	北中城村	北中城村　福祉課	島袋児童館	○		2018年4月30日
37	沖縄市	特定非営利活動法人たのしい教育研究所	沖縄市出前児童館キッズデポ		○	2018年3月15日
38	うるま市	一般社団法人りあん	中学生の居場所つくり・子ども食堂みどり町児童センター		○	2018年2月28日
39	うるま市	一般社団法人りあん	屋慶名児童館 中・高生居場所事業「びーぐ」		○	2018年2月28日
40	宜野湾市	我如古知事会	我如古青少年育成塾「ゆーでぃき家ー」		○	2018年1月9日
41	西原町	上原自治会	上原自治会子ども居場所			2017年12月11日
42	那覇市	お結び珈琲　訓	お結びキッズクラブ		○	2017年12月6日
43	那覇市	NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい	kukulu		○	2017年11月16日
44	うるま市	NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい	b＆gからふる田場		○	2017年11月16日
45	うるま市	NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい	うるまkukulu		○	2017年11月16日
46	大宜味村	ぶながやっ子ハウス	ぶながやっ子ハウス		○	2017年11月7日
47	多良間島	一般社団法人教育振興会	多良間村営塾		○	2017年8月17日
48	宮古島市	一般社団法人教育振興会	宮古島第3教室「サシバ」		○	2017年8月17日
49	伊平屋村	一般社団法人教育振興会	わくわくクラブ		○	2017年8月17日
50	与那原	つなひき無料学習塾	つなひき無料学習塾		○	2017年8月9日
51	八重瀬町	八重瀬町社会福祉協議会	シーちゃん　きっず食堂		○	2017年8月2日
52	糸満市	糸満がじゅまるセンター	糸満がじゅまる児童センター		○	2017年8月1日
53	豊見城市	特定非営利活動法人かなえ	子ども未来塾（かなえ）		○	2017年7月31日
54	石垣市	株式会社ゆにばいしがき	子どもホッ！とステーション		○	2017年7月28日
55	宮古島市	セレブラム教育システム株式会社	セレブラム※沖縄県推薦		○	2017年7月26日
56	宮古島市	セレブラム教育システム株式会社	学習支援教室まなびやぁ		○	2017年7月26日
57	西原町	県営坂田高層住宅自治会	県営坂田高層住宅自治会		○	2017年7月11日

No	市町村名	運営主体	居場所名	運営主体		締結年月日
				市町村	その他	
58	那覇市	安謝新都心子ども広場	安謝新都心こども広場		○	2017年7月8日
59	那覇市	那覇市母子生活支援施設センターさくら	那覇市母子生活支援ｾﾝﾀｰさくら		○	2017年7月7日
60	豊見城市	社会福祉法人豊見城市社会福祉協議会	子ども未来塾（まかぶ）		○	2017年6月26日
61	豊見城市	社会福祉法人豊見城市社会福祉協議会	子ども未来塾（とみぐすく）		○	2017年6月26日
62	豊見城市	社会福祉法人豊見城市社会福祉協議会	子ども未来塾（いらは）		○	2017年6月26日
63	南風原町	南風原町新川自治会	放課後子どもルーム		○	2017年6月16日
64	那覇市	一般社団法人ビクトリーチャーチ	子供の広場in那覇		○	2017年6月13日
65	那覇市	小学生ユイマール塾よぎ・なかいま	ユーマール塾よぎ		○	2017年6月9日
66	那覇市	小学生ユイマール塾よぎ・なかいま	ユイマール塾なかいま		○	2017年6月9日
67	宜野湾市	普天間やまがっこう	普天間やまがっこう		○	2017年5月23日
68	宮古島市	沖縄県社会福祉事業団漲水学園	漲水学園学習塾		○	2017年3月3日
69	宜野湾市	普天間3区自治会	普天間3区こども居場所		○	2017年2月22日
70	与那原	一般社団法人きっずまぁる	まぁる家よなばる		○	2017年1月22日
71	那覇市	松尾二丁目自治会	松尾2丁目自治会		○	2016年12月28日
72	浦添市	株式会社りゅうせきビジネスサービス	サポートルームわらわら（那覇工業高等学校内）※沖縄県推薦		○	2016年12月15日
73	沖縄市	株式会社りゅうせきビジネスサービス	県立学校の居場所づくり事業（美里高校）※沖縄県推薦		○	2016年12月15日
74	宜野湾市	株式会社りゅうせきビジネスサービス	県立学校の居場所づくり事業（中部商業高校）※沖縄県推薦		○	2016年12月15日
75	豊見城市	株式会社りゅうせきビジネスサービス	サポートルーム若葉（南部農林高等学校内）※沖縄県推薦		○	2016年12月15日
76	那覇市	株式会社りゅうせきビジネスサービス	県立学校の居場所づくり事業（真和志高校）※沖縄県推薦		○	2016年12月15日
77	宮古島市	NPO法人あらた	あらた		○	2016年12月13日
78	浦添市	NPO法人エンカレッジ	NPO法人エンカレッジ 浦添てだこ学習支援教室		○	2016年12月12日
79	浦添市	NPO法人エンカレッジ	NPO法人エンカレッジ 浦添てだこ第二学習支援教室		○	2016年12月12日
80	うるま市	NPO法人エンカレッジ	ゆう力家具志川教室		○	2016年12月12日
81	うるま市	NPO法人エンカレッジ	ゆう力家塾（石川教室）		○	2016年12月12日
82	うるま市	NPO法人エンカレッジ	ゆう力家塾（与勝教室）		○	2016年12月12日
83	北谷町	NPO法人エンカレッジ	NPO法人エンカレッジ　ちーたん塾		○	2016年12月12日
84	豊見城市	NPO法人エンカレッジ	NPO法人エンカレッジ豊見城教室		○	2016年12月12日
85	西原町	NPO法人エンカレッジ	エンカレッジ西原がじゅまーる教室		○	2016年12月12日
86	宮古島市	NPO法人エンカレッジ	デイゴ学習支援教室		○	2016年12月12日
87	読谷村	NPO法人エンカレッジ	エンカレッジ読谷学習支援第2教室		○	2016年12月12日

No	市町村名	運営主体	居場所名	運営主体		締結年月日
				市町村	その他	
88	那覇市	NPO法人エンカレッジ	NPO法人エンカレッジ泉崎教室		○	2016年12月12日
89	那覇市	NPO法人エンカレッジ	NPO法人エンカレッジ真和志教室		○	2016年12月12日
90	那覇市	一般社団法人UTT	地域子ども・若者プラザUTT※沖縄県推薦		○	2016年12月8日
91	読谷村	一般社団法人うちなーからはーい	JIJIKIDS		○	2016年11月11日
92	中城村	久場っ子クラブ	久場っ子クラブ		○	2016年11月11日
93	沖縄市	夢空間たんぽぽ	夢空間たんぽぽ		○	2016年11月11日
94	那覇市	一般社団法人おきなわ子育てライフサポートセンター	たのしくやろう！しゅくだい教室		○	2016年10月20日
95	那覇市	一般社団法人おきなわ子育てライフサポートセンター	すい・子ども食堂		○	2016年10月20日
96	沖縄市	NPO法人ももやま子ども食堂	ももやま子ども食堂		○	2016年10月17日
97	那覇市	R・Kアカデミー	R・Kアカデミー		○	2016年10月4日
98	南城市	社会福祉法人南城市社会福祉協議会	ほっとハウスひまわり（ひまわり児童館）		○	2016年10月4日
99	南城市	社会福祉法人南城市社会福祉協議会	ほっとハウス「がじゅまる」（當山集落センター）		○	2016年10月4日
100	浦添市	まちづくりNPOうらそえ	浦添市母子生活支援施設浦和寮		○	2016年9月16日
101	浦添市	まちづくりNPOうらそえ	浦添市立森の子児童センター		○	2016年9月16日
102	名護市	無名塾	無名塾		○	2016年9月13日
103	那覇市	ユイマール塾	ユイマール塾		○	2016年8月26日
104	南風原町	一般社団法人カナカナ	カナカナ		○	2016年7月22日
105	南風原町	認定NPO法人侍学園　スクオーラ・今人沖縄校	認定NPO法人 侍学園　スクオーラ今人　沖縄校		○	2016年7月1日
106	名護市	公立大学法人名桜大学	名護市学習支援教室 ぴゅあ第二教室		○	2016年6月1日

資料４－２

令和元年度 大学コンソーシアム沖縄 県民向け公開講座 実施状況一覧

No.	開催日	主催	大学コンソ沖縄対応	タイトル（講演テーマ）	取組・実施概要	参加者数	備考
1	2019/9/7	キリ学	冠(協賛)	アフガニスタン命の水を　～干ばつの大地に用水路を拓く《講師：中村哲》	中村 哲氏は、パキスタン北西辺境州の州都ペシャワールや東部アフガニスタンでの貧困層への医療活動と並行し、干ばつに見舞われたアフガニスタン農村復興のため、灌漑・水利事業に携われています。 現地活動DVD上映後、「アフガニスタンに命の水を ～干ばつの大地に用水路を拓く～」と題してご登壇いただきました。講演後には活発な質疑応答が行われました。	約178名	**別添「中村哲氏を偲ぶ」をご覧下さい。**
2	2019/10/12	沖国	冠(協力)	コンピューター技術の発展と可能性《講師：大山健治》	コンピュータ技術の発達について、特に画像処理やCG技術（リアルタイム処理等）の発達によってもたらされた事例を紹介し、産業への応用と新たな可能性について解説した。	26名	
3	2019/12/21	（共催）高専、日本ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ協会	協力	「沖縄で考える、アイルランドの民族文化 ～チェンバレン，ハーン，水と海の信仰 ～《講師：小泉 凡》	本講演は、小泉氏が理事を務める日本アイルランド協会の年次大会の一環として実施されたもので、小泉氏はラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の曾孫であり、現在も八雲の業績についての講演会や八雲の作品の朗読会を日本国内外で開催しております。 日本アイルランド協会年次大会は本年度で27回となりますが、アイルランドの文学・歴史・文化・語学等を主題に、それぞれの研究者が研究発表やテーマ発表、シンポジウムを行う大会です。	約50名	
4	2020/1/25	沖大	冠(協賛)	ひきこもった子どもと親たち 【第一部】基調講演「全国の状況はこうなっている」 《講師：谷口 仁史》 【第二部】シンポジウム「子どもの訴えにどう応える」 シンポジスト：　松本大進 崎原旦陽 崎原盛子 コメンテーター：　谷口 仁史 コーディネーター：島村聡	最初に、沖縄大学地域研究所所長島村聡による趣旨説明がありました。次に、第一部「全国の状況はこうなっている」では、認定NPO（特定非営利活動）法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事の谷口仁史氏から全国のひきもりについての現状及び対応などをお話しいただきました。 第二部のシンポジウム「子どもの訴えにどう応える」では、沖縄県子ども・若者みらい相談プラザsorae主任支援員で臨床心理士の松本大進氏から、沖縄県内のこれまでの現状や取り組みについて説明いただいた後、ひきこもり経験者親子の崎原旦陽氏とその母盛子氏に、実際にどのようなことで苦しみ、どのような形で状況を打開していったのかなどの経験をお話しいただきながら、松本氏には県内の支援の現状や限界を、谷口氏にはアドバイスをいただきました。 最後に、コトバグラフィッカーの室伏長子氏が、全体のまとめを行いました。	127名	
5	2020/2/2	県看	冠(協力)	人生の達人の暮らしぶり　～老いることに心を弾ませて～《講師：田場由紀》	老い方（人生100年時代のモデル高齢者）、暮らし方（80歳になったことでわかる幸せ）、生き方（要介護高齢者のできる地域貢献）、終わり方（人生の集大成は”我が家”で）について講演が行われた。 当初は、県立博物館・美術館1F 講座室（80名～100名）での開催を予定していたが、受付が100人を超えたため、 2階の講堂に講座場所を移し、参加者全員入場（約230名）してもらうことができ、大盛況となった。	約230名	
6	2020/2/22	OIST	協力	ビジネス革新 変化を創ろう ～科学､技術､ダイバーシティを通じて～《講師：菅 大介》	飲料メーカーであるチェリオコーポレーションにおいて国内の多様性豊かな社会づくりの推進に力を入れている菅大介専務取締役をお招きし、科学、技術、人間の価値観を通じてビジネスを進化させるための様々なアプローチの仕方などについてご講演いただきました。 国の内外を問わず全ての方々に興味深い内容であったので、同時通訳対応などもっと広く宣伝できていればなお良かったとの声がありました。	52名（外国人9名含む。同時通訳にて実施）	

資料４－３

令和元年度 大学コンソーシアム沖縄 FD・SD研修 実施状況一覧

No.	開催日	主催	大学コンソ沖縄対応	タイトル（講演テーマ）	取組・実施概要	参加者数	備考
1	2019/7/26	琉大	協力	消費税増税改正に伴う研修会	令和元年１０月１日より消費税率が１０％と引き上げられることとなっており、今回の消費税の引き上げにおいては、軽減税率対応や経過措置対応等があり、本研修会においてその点について研修を行った。	9機関 100名	
2	2019/9/3	琉大	協力	情報セキュリティーインシデント対応研修会　～ボードゲーム研修会～	セキュリティインシデントに対する問題意識をインシデント対応メンバー間で共有インシデント発生時の対処の優先順位付け（トリアージ）を体験する。自組織のセキュリティの課題に気付くことを狙いとして実施した。	7機関 15名	
3	2019/12/14	琉大	協力	数理データサイエンス教育普及展開シンポジウム《講師：真嘉比 愛》	シンポジウムの基調講演では「大学に期待する数理データサイエンス人材」という題目で、株式会社ちゅらデータの真嘉比 愛 取締役社長による講話がありました。企業が大学生に求めるデータを取り扱う上での基本的なリテラシーや、データサイエンスの現状と様々な企業での活用事例、今後どのように発展していくかなどをお話していただきました。 また、琉球大学教員による事業概要および本学の協力校としての取り組みの説明や「データサイエンス教育のポイント」として講義の一例が紹介されました。さらに本事業の協力校である、宮崎大学の取り組みについて、宮崎大学基礎教養部　野見山将太　特別助教より「数理・データサイエンスを活かした地域産業人材の育成に向けたカリキュラム・教材の開発」の題で、COC+の取り組みと数理・データサイエンス教育強化事業への展望をご紹介いただきました。	7機関 37名	
4	2020/1/30	OIST	協力	SINET（学術情報ネットワーク）個別ミーティング説明会《講師：国立大学情報学研究所（NII）》	各大学より SINET 担当者へ沖縄地区特有の課題（県内に DC<データセンター>が１つしかない）を共有し、次期 SINET では DC の冗長構成がとれるように提言した。 最終的に今年末に予算が確定するため、そのときに沖縄地区において拡張 DC を導入するかどうかが決定する。併せて、沖縄地区各大学の情報基盤の整備及ネットワーク等の現状や課題についての情報交換等を実施し、他大学からアドバイスや解決方法などの有意義な意見交換が図れた。	8機関 25名	
5	2020/2/14	大学ｺﾝｿ	名桜大提案協力	アメリカを抱きしめて　～日本人アメリカニストの軌跡～《講師：吉原真里》	ハワイ大学教授で名桜大学招聘客員教授の吉原先生が、アメリカと日本、そして英語と日本語という二つの世界を往還する知性そして感性、さらにこれまで歩んでこられた軌跡について、聞き手 喜納琉球大学教授との対談形式による講演が行われた。 若手の教員、学生も多く参加し、アンケートでは「生き方と研究の関係を丁寧に説明してもらい自分のこれからの考え方の参考にしたい」などという感想があった。	4機関 40名	
6	2020/3/6	琉大	協力	論文発表の先にあるもの～研究成果の地域展開～《講師：早坂 信哉》	毎年多数の研究成果が学会や学術論文で発表されているが、研究成果は研究者の世界だけで共有されるだけではなく、広く地域社会に発信されることが求められている。 「温泉博士」「お風呂博士」の愛称で多くのメディアに紹介されている東京都市大学人間科学部教授の早坂信哉氏に、研究テーマである「入浴・温泉」を通じた多くの自治体・企業等との地域連携の実績を基に、研究成果を地域社会に展開する思考法や手法・成功例などについてご講演いただいた。	2機関 35名	

資料４－４

沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学
沖縄県立芸術大学
沖縄県立看護大学
沖縄国際大学
沖縄女子短期大学
沖縄大学
名桜大学
琉球大学（五十音順）

入試改革の概要
各大学の入試説明

延期のお知らせ

３月８日（日）
県内大学入試説明会は延期

University Consortium Okinawa

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、３月８日（日）に開催を予定しておりました沖縄県高等学校ＰＴＡ連合会及び大学コンソーシアム沖縄共催の「県内大学入試説明会～親子のための進路研修会～」を延期させていただきます。

なお、開催の時期については、沖縄県高等学校ＰＴＡ連合会及び県内大学との調整により、お知らせいたします。

参加申し込み
2月5日~2月28日
各高校PTAにお申込ください

【お問い合わせ先】
大学コンソーシアム沖縄事務局
〒903-0213
沖縄県中頭郡西原町字千原1
(TEL)098-895-8037
(E-mail)chikikakui@acs.u-ryukyu.ac.jp

資料５－１

決　算　報　告　書

（ 第６ 期 ）

自　 平成 31 年 4 月 1 日

至　 令和２年３月 31 日

一般社団法人　大学コンソーシアム沖縄

貸借対照表

令和　2年　3月 31日 現在

一般社団法人　大学コンソーシアム沖縄

（単位：円）

科　　目	実施事業会計		その他事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ事業【企業の寄附】	研究交流ﾌｫｰﾗﾑ事業【県補助事業】	子供の貧困対策事業【県委託事業】	知的・産業ｸﾗｽﾀｰ事業【県委託事業】			
Ⅰ　資産の部							
1. 流動資産							
現金預金	7,149,975	0	8,460,413	0	1,855,963	0	17,466,351
未収金	0	0	5,066,163	0	0	0	5,066,163
他会計短期貸付金	8,934,371	0	3	0	0	△ 8,934,374	0
立替金	0	0	4,956	0	0	0	4,956
流動資産合計	16,084,346	0	13,531,535	0	1,855,963	△ 8,934,374	22,537,470
2. 固定資産							
(1)基本財産							
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0
(2)特定資産							
特定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
(3)その他固定資産							
その他固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	16,084,346	0	13,531,535	0	1,855,963	△ 8,934,374	22,537,470
Ⅱ　負債の部							
1. 流動負債							
未払金	630,230	0	457,403	0	2,200	0	1,089,833
未払費用	0	0	1,001,536	0	0	0	1,001,536
未払消費税等	0	0	692,000	0	0	0	692,000
預り金	0	0	35,873	0	0	0	35,873
未払法人税等	0	0	587,200	0	0	0	587,200
他会計短期借入金	0	0	8,934,371	0	3	△ 8,934,374	0
流動負債合計	630,230	0	11,708,383	0	2,203	△ 8,934,374	3,406,442
2. 固定負債							
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0
負債合計	630,230	0	11,708,383	0	2,203	△ 8,934,374	3,406,442
Ⅲ　正味財産の部							
1. 指定正味財産							
2. 一般正味財産	15,454,116	0	1,823,152	0	1,853,760	0	19,131,028
正味財産合計	15,454,116	0	1,823,152	0	1,853,760	0	19,131,028
負債及び正味財産合計	16,084,346	0	13,531,535	0	1,855,963	△ 8,934,374	22,537,470

収支計算書内訳表

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄

（単位：円）

科　　目	実施事業会計		その他事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ センター事業 【企業の寄附】	研究交流ﾌｫｰﾗﾑ事業 【県補助事業】	子供の貧困 対策事業 【県委託事業】	知的・産業 ｸﾗｽﾀｰ事業 【県委託事業】			
Ⅰ 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
①会費収入							
正会員会費収入	0	0	0	0	1,300,000	0	1,300,000
②事業収入							
事業受託収入	0	0	27,066,163	0	0	0	27,066,163
③寄付金収入							
寄付金収入	6,440,000	0	0	0	213,989	0	6,653,989
④雑収入							
受取利息収入	52	0	0	0	44	0	96
雑収入	0	0	704	0	0	0	704
雑収入計	52	0	704	0	44	0	800
事業活動収入計	6,440,052	0	27,066,867	0	1,514,033	0	35,020,952
2. 事業活動支出							
①事業費支出							
給料手当支出	0	0	10,293,477	0	0	0	10,293,477
賞与支出	0	0	2,664,760	0	0	0	2,664,760
法定福利費支出	0	0	1,975,176	0	0	0	1,975,176
福利厚生費支出	0	0	0	0	28,959	0	28,959
旅費交通費支出	914,100	0	5,025,360	0	0	0	5,939,460
通信運搬費支出	0	0	338,341	0	2,053	0	340,394
消耗品費支出	0	0	414,422	0	0	0	414,422
賃借料支出	0	0	622,712	0	0	0	622,712
保険料支出	0	0	403,300	0	0	0	403,300
諸謝金支出	10,834,560	0	197,780	0	0	0	11,032,340
租税公課支出	0	0	1,230,700	0	10,960	0	1,241,660
負担金支出	0	0	0	0	30,000	0	30,000
委託費支出	0	0	374,000	0	194,720	0	568,720
企画イベント費支出	0	0	8,800	0	0	0	8,800
使用料支出	0	0	668,638	0	0	0	668,638
間接経費支出	0	0	504,617	0	0	0	504,617
雑支出	168,900	0	2,048	0	0	0	170,948
事業費支出計	11,917,560	0	24,724,131	0	266,692	0	36,908,383
②管理費支出							
会議費支出	0	0	0	0	7,314	0	7,314
通信運搬費支出	0	0	0	0	2,700	0	2,700
諸謝金支出	0	0	0	0	22,500	0	22,500
租税公課支出	0	0	0	0	200	0	200
雑支出	0	0	0	0	19,928	0	19,928
管理費支出計	0	0	0	0	52,642	0	52,642
③その他の支出							
法人税、住民税及び事業税	0	0	587,200	0	0	0	587,200
事業活動支出計	11,917,560	0	25,311,331	0	319,334	0	37,548,225
事業活動収支差額	△ 5,477,508	0	1,755,536	0	1,194,699	0	△ 2,527,273
Ⅱ 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
①特定資産取崩収入							
特定資産取崩収入	1,083,000	0	0	0	0	0	1,083,000
投資活動収入計	1,083,000	0	0	0	0	0	1,083,000
2. 投資活動支出							
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	1,083,000	0	0	0	0	0	1,083,000
Ⅲ 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出							
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0
Ⅳ 他会計振替額	0	831,746	0	△ 400,035	△ 431,711	0	0
当期収支差額	△ 4,394,508	831,746	1,755,536	△ 400,035	762,988	0	△ 1,444,273
前期繰越収支差額	19,848,624	△ 831,746	67,616	400,035	1,090,772	0	20,575,301
次期繰越収支差額	15,454,116	0	1,823,152	0	1,853,760	0	19,131,028

資料５－２

（別紙）

監 査 報 告 書

大学コンソーシアム沖縄
代表理事　　西　田　　睦　　殿

大学コンソーシアム沖縄　令和元年度の監査を実施致しましたので、下記のとおり報告致します。

記

1.　監査日時　：　令和２年６月３日（水）　10：00～11:00

２．監査場所　：　琉球大学 総合企画戦略部内（大学コンソーシアム沖縄事務局）

3.　監査期間　：　平成３１年４年１日～令和２年３月３１日

4.　監査結果　：　現金・預金通帳及び諸証憑書類とも正確であり、決算は適正に表示されており、適正に業務も実施されております。

以上

令和２年６月３日

監査人　　金　永　秀　印

（沖縄キリスト教学院大学・
沖縄キリスト教短期大学）

監査人　　盛　口　　満　印

（沖縄大学）

資料６

令和２年度 事業計画（案）について

〇令和２年度 実施事業（案）

１　連携による人材育成事業

① トビタテ！留学 JAPAN　地域人材コース

沖縄産学官協働人財育成円卓会議を中心に実施されるトビタテ！留学 JAPAN　地域人材コースに積極的に協力していく。

② キャリア教育（インターンシップ）

沖縄工業高等専門学校が実施する業界研究会や沖縄科学技術大学院大学が実施するインターンシップに他の大学等の学生が参加できるよう取り組む。

③ 単位互換

数理･データサイエンス教育普及展開事業の実施状況を踏まえて､制度設計に取組。

２　地域課題対応事業

子どもの居場所学生ボランティアセンター

引き続き事業を実施する。

３　ＦＤ・ＳＤ事業

① 教育の質保証に関する合同ＦＤ

② 大学職員合同研修

引き続き事業を実施する。

４　生涯学習事業

県民向け公開講座

引き続き事業を実施する。

５　その他の事業

合同学生募集活動

実行委員会を開催し、合同入試説明会を開催する。

※各大学・短期大学・高等専門学校ができる範囲内でできる事業を実施する。

※沖縄県の発表では、新型コロナウイルス感染症について今後第２波、第３波の感染流行を予想しているため､その動向を見極めながら感染予防対策を講じつつ事業を実施する。

※世界ウチナーンチュ学生サミットについては､新型コロナウィルス感染症の影響を受け、開催中止が決定しているため、令和２年度の事業計画から削除している。

資料７

令和２年度予算（案）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

一般社団法人　大学コンソーシアム沖縄　　（単位：円）

会計区分	法人会計	公益目的事業会計		収益事業会計
事業名	法人本部	法人本部	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ事業【企業から寄附金】	沖縄子供の貧困対策【県委託事業】
科目	予算額	予算額	予算額	予算額
Ⅰ　事業活動収入の部				
事業活動収入				
会費収入	700,000	600,000		
正会員会費収入	700,000	600,000		
受取補助金等				30,197,599
受取国庫補助金				30,197,599
寄附金収入			6,000,000	
寄附金収入			6,000,000	
前年度繰越額一部取崩額			4,900,000	
事業活動収入計	700,000	600,000	10,900,000	30,197,599
Ⅱ　事業活動支出の部				
事業活動支出				
事業費	0	600,000	10,900,000	27,452,437
給料手当			0	10,714,000
賞与			0	2,565,054
法定福利費			0	2,215,400
諸謝金			10,900,000	231,000
旅費交通費			0	7,921,900
通信運搬費			0	427,680
消耗品費			0	260,663
企画ｲﾍﾞﾝﾄ費		600000	0	220,000
使用料			0	783,640
賃借料			0	1,060,400
保険料			0	610,500
雑費			0	442,200
管理費	700,000		0	0
会議費	10,000		0	0
旅費交通費	150,000			660,000
通信運搬費	5,000		0	0
消耗品費	8,600		0	0
使用料	26,400			
印刷製本費	88,000		0	0
租税公課	11,000		0	0
会費負担金	30,000		0	0
役務費	371,000		0	0
法人税等	0		0	0
間接経費	0		0	2,745,162
Ⅲ 事業活動支出計（税込み）	700,000	600,000	10,900,000	30,197,599

令和２年度予算（案）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

一般社団法人　大学コンソーシアム沖縄　　（単位：円）

会計区分	法人会計	公益目的事業会計		収益事業会計
事業名	法人本部	法人本部	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ事業【企業から寄附金】	沖縄子供の貧困対策【県委託事業】
科目	予算額	予算額	予算額	予算額
Ⅰ　事業活動収入の部				
事業活動収入				
会費収入	700,000	600,000		
正会員会費収入	700,000	600,000		
受託事業収入				30,197,599
受託事業収入				30,197,599
寄附金収入			6,000,000	
寄附金収入			6,000,000	
前年度繰越額一部取崩額			4,900,000	
事業活動収入計	700,000	600,000	10,900,000	30,197,599
Ⅱ　事業活動支出の部				
事業活動支出				
事業費	0	600,000	10,900,000	27,452,437
給料手当	0	0	0	10,714,000
雇用職員A				286,000
雇用職員B				3,564,000
雇用職員C				3,036,000
雇用職員D				2,112,000
雇用職員E				1,716,000
賞与	0	0	0	2,565,054
雇用職員B				1,152,624
雇用職員C				686,665
雇用職員D				725,765
法定福利費	0	0	0	2,215,400
法定福利費:雇用職員A(事業主負担分)				44,000
法定福利費:雇用職員B(事業主負担分)				752,400
法定福利費:雇用職員C(事業主負担分)				554,400
法定福利費:雇用職員D(事業主負担分)				448,800
法定福利費:雇用職員E(事業主負担分)				250,800
法定福利費:労働保険料(事業主負担分)				165,000
諸謝金	0		10,900,000	231,000
ﾒﾝﾀｰ講師謝金				66,000
講師(事前研修)謝金				132,000
研修会講師謝金				33,000
学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ			10,900,000	
旅費交通費	0		0	7,921,900
職員旅費支出				660,000
旅費交通費(ｾﾝﾀｰ長・副ｾﾝﾀｰ長・事務局長)				220,000
学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ旅費支出（定期派遣）				4,450,600
講師等招聘旅費支出				220,000
学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ離島・僻地派遣旅費（環境税含む）				2,371,300
通信運搬費	0		0	427,680
郵送料				132,000
光回線・設置使用料				118,800
携帯電話使用料				132,000
ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞｰ利用料				44,880
消耗品費	0		0	260,663
事務用品				220,000
会議費				3,080
新聞雑誌費				37,583
企画ｲﾍﾞﾝﾄ費	0	600,000	0	220,000
企画ｲﾍﾞﾝﾄ費（ｺﾝｿ主催：入試説明会、公開講座、FD・.SD）	0	600,000		220,000
使用料	0	0	0	783,640
事務室借料				55,000
駐車場借料				55,000
光熱水費				118,800
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ保守管理料				26,400
研修会会場借料				55,000
沖縄自動車道利用料				16,720
管理ｼｽﾃﾑ利用料				396,000
燃料費				52,800
駐車料				7,920
賃借料	0	0	0	1,060,400
複合機ﾘｰｽ料				224,400
自動車(事業用車両)				396,000
ﾚﾝﾀｶｰ料(一時賃借:出張時)				110,000
デスクﾄｯﾌﾟPC3台、ﾉｰﾄPC1台				330,000
保険料	0	0	0	610,500
学生保険料				610,500
雑費	0	0	0	442,200
振込手数料				2,200
WEB管理システム改修費				440,000
管理費	700,000		0	0
会議費	10,000		0	0
総会・運営委員会	10,000			
旅費交通費	150,000		0	660,000
職員旅費支出	150,000			660,000
通信運搬費	5,000		0	0
切手	5,000			
消耗品費	8,600		0	0
事務用品	8,600			
使用料	26,400		0	0
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ保守管理料	26,400			
印刷製本費	88,000		0	0
リフレット作成費	88,000			
租税公課	11,000		0	0
印紙等	11,000			
会費負担金	30,000		0	0
全国コンソーシアム協議会会費	30,000			
役務費（法人申告・確定申告等委託）	371,000		0	0
法人税申告書作成料	231,000			
登記変更手続き	40,000			
テープ起こし（総会議事録・２回分）	100,000			
法人税等	0		0	0
法人税、道府県民税・市町村民税	0			
償還費	0		0	0
前年度事業費超過負担に係る償還費				
間接経費	0		0	2,745,162
間接経費				
Ⅲ 事業活動支出計（税込み）	700,000	600,000	10,900,000	30,197,599

地域連携プラットフォーム（仮称）構築に関するガイドライン（ポイント）案

資料８

（※）ガイドラインは、各地域が抱える事情や課題が様々であることを前提として、地域連携プラットフォームの構築に向けて検討する際の参考に資するもの。

【地域連携プラットフォームの必要性と意義】

- 大学等の高等教育機関は**地域の人材を育成し、地域経済・社会を支える基盤**。各地域は、人口減少、産業構造の変化、グローバル化、一極集中型から遠隔分散型への転換といった動きの中で、**地域ニーズを踏まえた質の高い高等教育機会の確保と人材の育成がこれまで以上に重要**。
- **地域の大学等、地方公共団体、産業界等がそれぞれの立場から単独で複雑化する地域課題の解決やイノベーションの創出に取り組むことは限界**。

➢ IT技術等の進化により、**地域においてもデジタル革命など**新しい産業創出やイノベーションを生み出し、**地域経済・社会を革新的に変えるチャンス**。

➢ このため、大学等、地方公共団体、産業界等様々な**関係機関が一体となった恒常的な議論の場を構築**し、**エビデンスに基づき、現状・課題を把握**した上で、**地域の将来ビジョンを共有**し、**地域の課題解決に向けた連携協力の抜本的強化**を図っていくことが不可欠。

大学等にとっては、**地域ニーズを取り入れた教育研究の活性化**や大学間連携の推進、大学等の地域における存在価値の向上

地方公共団体にとっては、大学等の知と人材を活用した**課題解決**や**域内への若者の定着促進**、地域の経済基盤強化と社会の維持・存続

産業界にとっては、**自らのニーズを反映した人材育成**や**共同研究による活性化**、魅力的な雇用の維持・増加

地域連携プラットフォームの体制整備、運営（既存の地域ネットワークや産官学連携の枠組みを活用することも考えられる）



体制整備の考え方

➢ 対象地域：都道府県などの行政単位、生活・経済圏、都道府県を越えた広域ブロック等、地域によって最適な単位を検討

➢ 参画主体：大学等、地方公共団体、産業界等の組織的関与
（トップの関与とともにミドル層、キーパーソンが対話に参画）

運営の考え方

➢ 運営：恒常的な運営体制の構築、既存のネットワークの活用も有効
（議論の場、企画立案、実行組織等の役割分担、コーディネート・事務局機能）

➢ 予算：参画組織からの会費徴収、国等のプロジェクト予算、企業版ふるさと納税など多様な財源を活用　等

地域連携プラットフォームで共有・議論・実行することが考えられる事項

（※）ガイドラインの参考資料として、地域ごとの大学、人口動態、産業構造の状況など議論の参考として考えられるデータ集を整理し、検討を促す。

地域社会のビジョンの共有、理解の促進

➢ 地域社会、地域産業のビジョン等
➢ 地域の高等教育の果たす役割を再確認　等

地域の現状・課題の共有と将来予測

➢ 大学進学時等の人口動態、地域社会・産業構造、将来予測も含め議論　等

議論することが考えられる事項

➢ プラットフォームにおける共通的な目標、方向性の確認
➢ 目標等を踏まえた行動計画、地域課題の解決策
➢ 地域の高等教育のグランドデザイン　等

課題解決のために実行する事項（例）

➢ 地域課題解決型の実践的な教育プロジェクトの提供
➢ 産業振興、イノベーションの創出
➢ 大学等進学率（特に域内進学率）や域内定着率の向上策
➢ 外国人留学生の受入れや社会人向け教育プログラムの開発　等

地域の高等教育機会と人材の確保 → **高等教育機関との連携による課題解決と地域振興** → **地域社会の維持・活性化**